

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	キャリアトレーニングII		授業形態/必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
文章や言葉を用いたコミュニケーション技術を学び、仕事をする上での対人スキルを学ぶ。					
到達目標					
SNS時代の文章などカジュアルなものから、社会人としてのフォーマルなものまで、一通りの言葉を用いたコミュニケーションについて理解し、部分的にでも使える様になっている。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業方針について</li> <li>・目的に応じた文章</li> <li>・ライティング実習～「好き」を伝える</li> </ul>
【前期】 6～8回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を書く際の決まり</li> <li>・自己を表現する文章のコツ</li> <li>・語彙を増やす</li> </ul>
【前期】 9～12回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことを文章にする</li> <li>・説明がうまくなるには</li> <li>・通る企画書とは</li> </ul>
【前期】 11～16回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝わる説明</li> <li>・物事の大意、芯を捉える</li> </ul>
【後期】 17～20回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問力を高める</li> <li>・魅力の解析</li> <li>・食レポに挑戦</li> </ul>
【後期】 21～25回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙資料を作ってみよう</li> </ul>
【後期】 26～30回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアに合わせた文章(SNS時代に合わせた文章の作り方)</li> <li>・思考訓練(ディベート)</li> </ul>
【後期】 31～36回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的思考のための練習</li> </ul>
【後期】 37～41回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の書き方</li> <li>・総括</li> </ul>
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。
使用教科書	適宜授業プリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽スタッフ総合実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習	必修
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	8回 (32単位時間)	2年次	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					

授業計画・内容	
1～7回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント①～⑦
8回目	InterBEE見学
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、タイムテーブル等を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作・楽器講座		授業形態/必・選	講義	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	39回(78単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：22年 楽器レンタル会社に所属の後にフリーランスとして15年ほど活動。担当アーティストの楽器・機材のケア、またイベントなどでの現地楽器、リハーサル時などではPAまわりも担当。 楽器の他に舞台監督としてアーティスト周年イベントなどでも活動。				
授業概要					
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。					
到達目標					
マネージャーとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	授業概要 ドラムについて：各名称とセッティング
【前期】 4～6回目	ギター&ベースアンプについて：運び方、つなぎ方、ツマミについて
【前期】 7～10回目	ギター・ベースについて 弦交換・チューニング
【前期】 11～16回目	舞台用語、タイムテーブル、ステージプロットについて エフェクターについて
【前期】 17～20回目	プロット作成について アコースティックギターについて
【後期】 21～26回目	ドラムチューニングについて キーボードについて
【後期】 27～30回目	ギター・ベースについて：弦交換反復とマルチエフェクターについて
【後期】 31～37回目	楽器実技：課題曲練習
【後期】 38～39回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	楽器の取扱いについては、講師の指示に従う事。また、機材在庫数の管理は細心の注意を払う事。服装については、学科規則に基づき遵守してください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクションデザイン実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	82回 (164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験12年。 大学卒業後、印刷会社に勤務。ソフトスキルを習得後、デザイン会社に転職。 音楽業界・エンタメ関係のグラフィックデザインに従事し、現在に至る。				
授業概要					
フライヤー制作や、グッズ制作などにファンクラブ運営に役立つデザイン知識を学ぶと共に、見積の取り方や、入稿作業等についての知識・ノウハウの習得する。					
到達目標					
プロダクションスタッフとしてのデザインやビジネススキルの修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	デザインの引き出しを増やす フライヤー制作について
【前期】 5～10回目	Illustrator/ロゴ作成 ・写真レタッチについて ・クリアファイル制作
【前期】 11～22回目	デジタルパンフ制作 企画ライブフライヤー制作
【前期】 23～29回目	ジャケット写真研究・制作
【前期】 30～42回目	販促物・ノベルティ制作
【後期】 43～56回目	CDジャケット制作 企画～ジャケットデザイン撮影～デザイン。
【後期】 57～66回目	アーティストグッズ制作 企画 ・見積 ・デザイン ・発注 ・納品確認
【後期】 67～78回目	CDリリース販促物制作 立案 ・取材 ・誌面制作 ・入稿 ・入稿確認
【後期】 79～82回目	デザイン課題制作 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	制作物の取り扱いについては、著作権等注意すること。
使用教科書	授業資料として、CDジャケットテンプレートなどのフォーマットをデータで配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	メディア制作実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	年次	2年次	
			82回 (164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験13年。 イベント総合プロデュース会社で映像制作を中心とした業務に関わる。一方で個人でも映像制作を請け負い、ミュージックビデオをはじめ、幅広いジャンルのコンテンツを手掛ける。				
授業概要					
映像を中心としたアーティストのコンテンツを企画・制作すると共に、マーケティング手法について学習する。					
到達目標					
アーティストのプロモーション等につながる企画力の向上、またそれらを世の中に広めるノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	マーケティング基礎 マーケティング基礎動画制作
【前期】 9～12回目	スチールカメラ撮影実習 仮アーティスト写真撮影
【前期】 13～24回目	対策ライブ告知動画制作
【前期】 25～36回目	9月企画ライブ告知動画制作
【前期】 37～42回目	スタフェス告知動画制作
【後期】 43～56回目	スタフェス告知動画制作
【後期】 57～64回目	9月企画ライブ告知動画制作
【後期】 65～78回目	リリースに向けてのプロモーション動画企画・制作
【後期】 79～82回目	アーティスト宣伝動画制作
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。撮影データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題に応じた教材データ（動画や画像を含む）を配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	168回 (336単位時間)	2年次	11単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：29年。 音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。				
授業概要					
アーティストの協力の元、ライブ制作、CD制作、ミュージックビデオ制作、プロモーションなど、プロダクションやレコード会社で行う一連の流れを学ぶ。					
到達目標					
プロダクションにおける業務の理解。					

授業計画・内容	
【前期】 1～12回目	年間実習予定について グランドスケジュールの作成
【前期】 13～24回目	ホームページ制作に関する会議 宣伝ツールとしてのSNS立ち上げ
【前期】 25～39回目	アーティストとの選曲会議 プリプロダクション立会い
【前期】 40～59回目	9月企画ライブに向けての7月対策ライブ実習 本番レコーディング～ミックスダウン～マスタリング立会い
【前期】 60～84回目	9月企画ライブの企画立案～準備～本番実施 アーティスト写真撮影 (コンセプト立案～ロケハン～撮影準備～本番撮影) CDジャケット制作 (準備～撮影～デザイン～入稿)
【後期】 85～104回目	ミュージックビデオ制作 (コンセプト立案～照明・映像専攻コースとの打ち合わせ～撮影～試写・修正依頼) 宣伝資料準備
【後期】 105～123回目	宣伝プランニング立案とアタックリストの作成～メディア・アプローチ CDショッププロモーション
【後期】 124～143回目	12月企画ライブの立案～準備～本番実施
【後期】 144～168回目	2月CD発売記念ライブの企画立案～準備～本番実施
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習協力アーティストや学外とのメールでのやりとりは、必ずccに教務・講師を入れること。SNSを使用しているプロモーションは、学科規則にのっとり行う事。担当セッションごとに協力して実習を遂行してください。
使用教科書	授業資料として、商品登録申請書などのフォーマットをEXCELやPDF形式で配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ProTools講座		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	39回 (78単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：29年 レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。				
授業概要					
PC画面での音素材の加工や、ミックス作業を行う。					
到達目標					
Pro Toolsを使用したレコーディングに関するオペレーションスキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	・DAW関連について Pro Toolsについて：音の仕組み、録音～ミックス～MAの流れ、ファイル構成
【前期】 3～7回目	・ProToolsの基本的な操作 新規フォルダー・ウィンドウの構成、ツールの機能について、リバーブ・ディレイの立ち上げ方
【前期】 8～14回目	・ProToolsの基本的な操作 リバーブ・ディレイの立ち上げ方、編集ウィンドウについて(memory location)、EDIT ツールの説明・作業・フェード作成
【前期】 15～18回目	・ProToolsの基本的な操作 ヴォーカル編集、Reverb操作応用、リズム・タイミング
【前期】 19～22回目	・ProToolsの基本的な操作：テンポ・拍子チェンジ ・ProToolsの実践的な操作：EQ/コンプ/エフェクターについて
【後期】 23～29回目	・ProToolsの実践的な操作 ミックスバランスについて、マキシマイザーについて(Sound Pressure Level)
【後期】 30～34回目	・ProToolsの実践的な操作 オートメーションについて、ライブミックス作業/MA作業、バウンス方法について(Wav/ mp3)
【後期】 35～38回目	・ProToolsの実践的な操作 ミックス作業、実習バンドミックス作業、ミックス視聴会
【後期】 39回目	年間の復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教室にあるMacの取扱いは講師の指示に従う事。教室内は飲食不可。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽理論講座		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	41回 (82単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴：28年 大学にてクラシックピアノを学んだ後、ピアニストとして活動を開始。クラシック・ポピュラーミュージック・ジャズ等、ジャンルにとらわれず様々なレコーディングやライブに携わり、海外での演奏も行うなど精力的に活動中。				
授業概要					
五線譜を用意し、自ら音符を書き込む。 五線譜に書いた音符を手拍子等でリズムを表現する。					
到達目標					
音楽の構成を理論的に分析、把握する技術の修得。 楽譜の読み書きが出来る。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	音に関する基礎知識 五線、音部記号 etc. 楽譜上の基礎的な説明 速度記号、音符と休符 etc.
【前期】 5～10回目	音符の省略 各記号 etc. について説明 課題への取り組み
【前期】 11～14回目	省略記号と反復記号：Repeat mark、D.S. etc. 各記号について説明 Major scale
【前期】 15～19回目	Minor scale 音程…音程の転回/octave 以上の音程 etc.
【後期】 20～24回目	コード：Minor triad、Minor triad、Augmented triad、Diminish triadについて 4和音について
【後期】 25～30回目	コードの復習、実際の曲でのコードの響きを聴く。 基本形と転回形。
【後期】 31～35回目	色々な曲のコード聴取。 Diatonic chord
【後期】 36～39回目	Minor の Diatonic chord 曲を聴いて、Major or minor key かを判断
【後期】 40～41回目	色々な曲を例に代理 chord：Non diatonic な substitute chord 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	基本的な楽譜の読解を基礎から学びなおします。エンジニアに必要とされる譜面に対する知識を楽しく学んでいきましょう。
使用教科書	PDFによるオリジナルテキストを随時配布



専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	84回 (168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：44年。 大手楽器メーカーにてホール音響を担当後、ライブハウスの企画・音響に従事。その後自身の会社を立ち上げ、PA業務にとどまらず、リハーサルスタジオやライブカフェ経営などマルチなビジネスを展開している。				
授業概要					
ライブホールの機材を使い、セッティング、チェック、スピーカーチューニング、PAオペレートなどの作業を学ぶ。					
到達目標					
仕込みから本番までのPAに関するオペレートのノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	ホール機材の説明 アンプ等の電源の入れ方 ミキサーからスピーカーまでの信号の流れ、ケーブルの結線、音の出し方
【前期】 7～16回目	バンド編成の回線表作成とステージ仕込み モニタースピーカー仕込み、モニターチューニング PAオペレート実習①準備～本番～反省
【前期】 17～30回目	対策ライブ準備～本番～反省
【前期】 31～36回目	バンド編成の回線表作成、INPUT、モニターなどを仕込みチューニング
【前期】 37～44回目	モニター卓を組む、回線、モニターチューニング等の実施 9月企画ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
【後期】 45～56回目	PAオペレート実習②準備～本番～反省 ※モニター卓も使用
【後期】 57～64回目	iPadステージMIXの使用法 12月企画ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
【後期】 65～71回目	2月CD発売記念ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
【後期】 72～84回目	これまで習得したの知識・技術を踏まえ、バンド編成の回線表作成、INPUT、モニターなどを仕込みチューニング
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリストの取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	授業資料として、デジタルミキサーの取扱説明書をデータで配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	楽器・舞台制作実習		授業形態/必・選	実習	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：23年 楽器レンタル会社に所属の後にフリーランスとして15年ほど活動。担当アーティストの楽器・機材のケア、またイベントなどでの現地楽器、リハーサル時などではPAまわりも担当。 楽器の他に舞台監督としてアーティスト周年イベントなどでも活動。				
授業概要					
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。					
到達目標					
コンサートスタッフとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	・授業概要について ・ドラム：太鼓・シンバルの種類・名称について、スタンドの組み立てとセット組み実践
【前期】 7～12回目	・ギター/アンプ：ギタースタンドの立て方、ギターの種類、ギターパーツについて、アンプについて ・アンプ/エフェクター：アンプを繋いで音を出す(音作り)、エフェクターについて(種類・繋ぎ順)
【前期】 13～20回目	・エフェクター/楽器実技：ギター・ベース・ドラムのセッティング、課題曲/フレーズ練習 ・ギター・ベース：ワイヤレスについて ・秋葉原電気街見学：楽器関連の電気パーツを観る
【前期】 21～32回目	・ステージ：舞台用語・タイムテーブル、ジェスチャーについて、ステージプロット・ステージ転換について、機材溜め場について、転換シミュレーション、アクティングエリアについて ・対策ライブ：準備～本番～バラシ～反省
【後期】 33～42回目	・ギター・ベース：弦交換・チューニング、調整について ・キーボード：スタンド・繋ぎ方・運び方など ・企画ライブ①：準備～本番～バラシ～反省
【後期】 43～54回目	・ドラム：チューニング・ミュート・ヘッドの張り方 ・楽器実技：ギター・ベース・ドラム・キーボード
【後期】 55～64回目	・学園祭ライブに向けて：準備～本番 ・企画ライブ①：準備～本番～バラシ～反省
【後期】 65～76回目	・ギター・ベース：弦交換・チューニング ・レコ発ライブ：準備～本番～バラシ～反省
【後期】 77～84回目	・楽器実技：課題曲演奏～録音 ・年間の復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	楽器の取扱いについては、講師の指示に従う事。また、機材在庫数の管理は細心の注意を払う事。服装については、ホール/レコーディングスタジオの服装と同様とします。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	レコーディング実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	84回 (168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴：34年 コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。				
授業概要					
実際にアーティストのレコーディング～MIX～マスタリングまでの工程を学ぶ。					
到達目標					
レコーディング現場に於ける音響技術の習得					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	スタジオのシステム、機材の名称、用途、操作方法をより理解する① さまざまなマイクの音、セッティングを学ぶ
【前期】 9～16回目	スタジオのシステム、機材の名称、用途、操作方法をより理解する② ※①とは別のスタジオについても学ぶ。
【前期】 17～30回目	プリプロダクション準備 ・バンド・レコーディングのセッティング、回線チェック、マイクセット、サウンドチェック プリプロレコーディング
【前期】 31～38回目	ベーシックレコーディング 楽器ダビング ボーカルレコーディング
【前期】 39～44回目	ミックスダウンについて レコーディングした曲を使って、ProToolsでのエディット、プラグイン、ミックスを学ぶ
【後期】 45～48回目	マスタリングについて 学外のスタジオでマスタリングに立ち会う
【後期】 49～56回目	レコーディング準備のスピードアップ（反復練習）
【後期】 57～66回目	バンドレコーディング①
【後期】 67～84回目	バンドレコーディング② 機材メンテナンス～総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	レコーディングスタジオ内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。歌詞・譜面の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	電気製作講座		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	39回 (78単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：16年 PA会社にて機材管理・メンテナンス・オペレーターを経て、現在は音楽コンサート以外にもスポーツイベントなど様々な現場にて活躍中。				
授業概要					
電気について基礎から学ぶ。 PAやレコーディング、照明の現場で使用されている各ケーブルの製作方法を学ぶ。					
到達目標					
電気についての基礎知識の修得、半田ごての技術習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	授業説明、注意事項 教室・掃除の説明、自己紹介、工具箱の確認 道具の説明、ハンダの基礎知識、4E6Sケーブル剥き
【前期】 5～10回目	リード線のラグ板ハンダ付け 4E6Sケーブル剥き⇒ラグ板ハンダ付け ケーブル説明、4E6Sケーブル剥き (バランス・アンバラ)、コーティング
【前期】 11～14回目	4E6Sケーブル剥き (バランス・アンバラ) ⇒ラグ板ハンダ付けもしくはワニワニ作成 キャノンコネクタ説明 XLRハンダ付け
【前期】 15～19回目	導通チェック説明、XLR TS TRS
【後期】 20～24回目	XLR、TS、TRS (反復)
【後期】 25～30回目	ITT XLR、TS、TRS、ITT (反復)
【後期】 31～35回目	NL4 XLR、ITT、TS、TRS、NL4 地べた
【後期】 36～37回目	RCA クラフト (ラジオ) 製作
【後期】 38～39回目	クラフト (ラジオ) 製作 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	電気の基礎やケーブルの構造を実際に自分で製作しながら学んでいきましょう。同時に現場で求められる半田ごての技術習得を目指します。
使用教科書	オリジナルテキストを随時配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像メディア研究		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	78回 (156単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：16年 映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
ミュージック・ビデオ、映画、CM、ドラマ、バラエティーなど様々な映像メディアを研究し、優れた作品、人をひきつける作品とはどのようなものであるかを研究する授業。					
到達目標					
数多くの作品を見、解析することで審美眼を養うと共に、なぜその作品が良いのかを伝えられるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	メディア研究① 概論：どのようなメディアがあるのか考えさせ、今後の研究対象を洗い出す。
【前期】 9～12回目	メディア研究② MV、ライブビデオ
【前期】 13～24回目	メディア研究③ 映画
【前期】 25～36回目	メディア研究④ CM
【前期】 37～42回目	メディア研究⑤ ドラマ
【後期】 43～56回目	メディア研究⑥ バラエティー
【後期】 57～64回目	メディア研究⑦ ネット動画
【後期】 65～76回目	2024年、私的アワード選定～発表
【後期】 77～78回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。
使用教科書	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	色彩講座		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	42回 (84単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：35年 テレビ番組制作関連業務などを経て、2006年から店舗ディスプレイ業務に従事。その経験を活かし、企業や専門学校でディスプレイと色彩講師を務める。また、企業向けに販売促進のための色彩活用セミナーを実施。商業施設や小売店の売り場づくりのカラーコンサルティングにも携わる。				
授業概要					
照明・映像・デザインといった専攻科目に共通して必要な色彩知識について学ぶ。					
到達目標					
色彩検定3級の取得を目標とする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	PCCS（色の分類と三属性） / トーン（トーン概念図の仕組みを理解する）
【前期】 6～10回目	配色（色相・トーン配色、色相とトーンを組み合わせた配色、配色の基本的な技法） / 色彩心理（色の心理的効果、色の連想と象徴）
【前期】 11～15回目	色彩心理（色の視覚効果） / 光と色（色はなぜ見えるのか 照明と色 目のしくみ 混色） / 前期試験対策
【前期】 16～20回目	前期試験対策 / 前期試験 / ファッション / インテリア / 慣用色名 / 検定対策
【後期】 1～4回目	模試 / 検定対策 / カラーユニバーサルデザイン（CUDの基礎知識と導入方法） / ライブハウス、CDショップなどで活用するPOP・看板のカラーコード&デザイン
【後期】 5～8回目	カラーユニバーサルデザイン（CUDの基礎知識と導入方法） / ライブハウス、CDショップなどで活用するPOP・看板のカラーコード&デザイン
【後期】 9～12回目	ライブハウス、CDショップなどで活用するPOP・看板のカラーコード&デザイン
【後期】 13～16回目	パーソナルカラー
【後期】 17～22回目	パーソナルカラー
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、提出物、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	仕事では様々なニーズに対応するための色彩提案が求められます。そのためにも色彩の基礎知識を身に付け、それを実践的に活用するという視点を持って授業に臨んでください。
使用教科書	文部科学省後援・色彩検定公式テキスト3級編

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	照明実習		授業形態/必・選	実習	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験12年。 ライブハウスで照明の基礎を積む。近年は音楽ライブはもとより、ダンスイベントやフェス系の現場にも活躍の場を広げている。				
授業概要					
照明のプランニングからオペレートまでを理論的かつ実践的に学ぶ。					
到達目標					
照明プランニングとホールでの仕込み、本番でのオペレートのノウハウの習得し、照明の原理原則を理解している。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ホール機材についての説明。立ち上げ方法。 安全講習/電球について/譜割り① トツフレネル/ケーブル容量など/仕込み実習
【前期】 5～16回目	SF/譜割り②/調光卓とDMX/色番号 ACL/球替えParフレネル 仕込み実習/PIN
【前期】 17～32回目	LED,シュートの説明(竿と脚立),人の見え方について 卓・MVの説明/PIN練習 対策ライブ仕込み～本番～反省
【前期】 33～36回目	ホールの機構の照明用語 DMXについて DMXを使った仕込み 卓(dim shape)
【前期】 37～44回目	企画ライブ①仕込み～本番～反省
【後期】 45～56回目	仕込み図の書き方 あかり作り 卓データ作成について
【後期】 57～76回目	仕込み実習/卓 企画ライブ②仕込み～本番～反省
【後期】 77～100回目	卓/PIN レコ発ライブ仕込み～本番～反省
【後期】 101～126回目	各自課題曲を決め、一曲明かりを作る。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ホール・教室内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時プリントやPDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像制作実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	83回 (166単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験：16年 映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
ミュージックビデオ制作を中心に映像制作のプランニングから撮影、編集までの一連の流れについて学ぶ					
到達目標					
Adobe社のPremireやAfterEffectsといったソフトを用いた基礎的な編集技術およびミュージックビデオ制作のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	ミュージックビデオ模擬企画制作 ・各担当決め ・企画制作
【前期】 7～16回目	ミュージックビデオ模擬企画制作 ・香盤表作成 ・スケジュール作成 ・カメラリハーサル ・撮影～編集
【前期】 17～26回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・企画制作、絵コンテなど資料制作、企画プレゼン 7月対策ライブプランニング～撮影～編集。
【前期】 27～36回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・企画修正、報告 ・ミュージックビデオ内容確定
【前期】 37～44回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・資料作成、ロケハン、各種許可、カメラテストなど実施。撮影～編集～特殊効果等 9月企画ライブプランニング～撮影～編集。
【後期】 45～60回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・試写～修正～確認～納品
【後期】 61～68回目	オンライン動画配信について 12月企画ライブプランニング～撮影～編集。
【後期】 69～74回目	After Effectsについて
【後期】 75～83回目	CD発売記念ライブ撮影～編集
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。撮影データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題に応じた教材データ（動画や画像を含む）を配布。



専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	デザインPC実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	84回 (168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：26年 ロゴ・ポスター・CDジャケット・マーチャンダイズ等、様々な広告デザイナーとしての業務に従事。一方、フォトグラファーとしての活動も行い、二刀流のクリエイターとして活動中。				
授業概要					
コミュニケーションツールとしてのデザインを学ぶ授業。					
到達目標					
デザインの基礎知識・技術を学び、グッズ制作等の成果物に結び付けると共に、就職後を見据え、わからない技術を自分で調べる術を身につけることを目標とする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	授業概要説明。 一年次授業の振り返り 検索力について
【前期】 7～14回目	デザインの概念 カラー理論と配色 レイアウトデザイン
【前期】 15～30回目	タイポグラフィ デザインプロセスの紹介 ウェブデザイン
【前期】 31～38回目	イラストレーション：基本的なイラストレーションの技法 ロゴデザイン：ブランディングとアイデンティティ、ロゴデザインのプロセスと実践演習
【後期】 39～44回目	グラフィック：ポスター、チラシ、パンフレットなどのデザイン、イラストと写真の組み合わせ、デザインのコミュニケーション効果の理解
【後期】 45～56回目	パッケージデザイン：戦略とアプローチ、構造と材料
【後期】 57～66回目	マルチメディアデザイン：動画、アニメーション、サウンドの統合
【後期】 67～76回目	デザイン制作実習：デザインプロセスの継続的な改善、フィードバックと反省の重要性
【後期】 77～84回目	デザインポートフォリオの構築：ポートフォリオのデザインと構成 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。公開前データの取り扱いについては細心の注意を払ってください。
使用教科書	課題のための例題を随時データにて配布。